



佐野市立北中学校で農業者による講話を実施 【農業への理解促進みのりす】

令和2(2020)年11月24日
安足農業振興事務所

11月24日 佐野市立北中学校の学校行事「生き方教室」と連携し、第1学年生徒(203名)を対象に、農業の理解促進等に向けた講話を行いました。

※コロナウイルス感染防止の観点から会場を2カ所(体育館・集会室)に分けて実施しました。

- ・講師は、有限会社篠原ファーム友米家 専務 篠原由拓氏にお願いし、「1億円プレーヤーを目指して」という演題で、これからの農業、職業観、若い人に伝えたいことについて、北中のOBとして、学校の先生を目指していた学生時代の話、消防士から農業に転職した経緯等も交えて講話をしていただきました。

【講話内容】

- ・これからの農業は、ICTやAIを活用して、効果的に作業できる。
- ・大学までは、学校の先生になりたかったが、社会貢献もでき安定している消防士になった。あるとき、親の姿を見て農業もいかなと思ひ、後悔したくないので挑戦し、農業を始めた。今では、良いイメージになるよう頑張っている。
- ・農業でも「1億円プレーヤー」になれるし、知り合いで2億、3億円を稼いでいる人もいる。
- ・若い人には、次のことを伝えたい。
①思った時に思ったことをしないと後悔する。失敗してもやり直せるので、色々なことを体験してほしい。②何かあった時、どうしてこうなるのか考え、分からなければ、大人はその疑問を解決することに力を貸してくれる。③自分自身を好きでいてほしい。今後、人生の分かれ道に来た時、自分を肯定し、自分で進む道を決定してほしい。夢を持ち続けてほしい。
など

- ・生徒から「農業をやってうれしかったことはありますか」などの質問や、「農業に対するイメージが変わった(良くなった)」などなど、生徒の関心が高かったように感じました。

